

# 12月定例会

12月定例会は、12月12日から18日までの会期で開催されました。  
規約変更議案、補正予算議案、承認議案、議員発議がすべて原案どおり可決・承認されました。

## 議案

### 町長提出議案

#### ●木曾広域連合規約の変更について

①「ふるさと市町村圏施策」が廃止されたことにより事務を整理統合することとしました。

②木曾広域圏公共サインの今後の整備や維持管理の負担割合について整理を行いました。

③障害者自立支援法の改正に伴い字句の修正を行いました。

#### ●長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

東筑摩郡行政事務組合が平成25年3月31日をもって解散することにより、同組合組織団体が加入することによる規約の変更です。

#### ●松塩筑木曾老人福祉施設組合の共同処理する事務及び規約の変更について

特別養護老人ホーム木曾寮の閉所に伴う変更、地域の介

護に携わる職員の人材育成に関する事務を追加、東筑摩郡町村会が平成25年3月31日に解散することに伴う変更です。

### 承認案件

#### ●南木曾町有林野経営事業計画の承認について

平成25年度の町有林野経営事業計画について承認されました。事業内容は、下刈（塚野・天白）、鳥獣害防止（塚野）です。

### 報告案件

#### ●専決処分事項の報告について（事故の和解及び損害賠償額の決定について）

妻籠第2駐車場の舗装下部が空洞となっていたため、駐車してあったバイクが転倒し、バイクの一部を損傷させた事故の損害について、相手方と和解し賠償した専決処分報告です。

#### ●専決処分事項の報告について（平成24年度南木曾町一般会計補正予算（第4号））

衆議院解散による12月16日投開票の衆議院議員選挙経費510万円を計上しました。

## 議員発議

#### ●南木曾町議会委員会条例の一部改正について

地方自治法の一部改正に伴い、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会が一つの条文に統合されました。委員の選任等に関する事項が条例に委任されたことに伴い、一部を改正するものです。

#### ●南木曾町議会会議規則の一部改正について

地方自治法の一部改正に伴い、本会議においても公聴会の開催、参考人の招致をすることができるようになったこと等に伴う改正です。

## 請願・陳情

### 総務文教常任委員会付託分

#### ●安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書

### 内容

- ①介護報酬の再改定
- ②国庫負担の拡充と利用料負担軽減
- ③生活援助時間短縮と見直し
- ④介護職員の処遇改善

### 提出者

長野県医療

労働組合連合会

執行委員長 小林吟子

### 結果

採択・意見書送付

#### ●法人市町村民税に関する陳情書

### 内容

資本金1億円以下の企業の法人市町村民税（均等割）の標準税率化

### 提出者

南木曾商工会

会長 伊藤民男

木曾法人会南木曾支部

支部長 原政春

### 結果

不採択に賛成5人  
理由：自立推進計画を重視するため。

### 木曾広域連合議会報告

木曾広域連合第4回定例会が、11月27日に開催され、提出議案すべてが原案どおり可決・決定されました。主な内容についてお知らせします。

●長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更に  
ついて

木曾広域連合が加入している長野県内の地方公共団体が共同設置する同委員会に、新たに加入があることから規約の変更を行うものです。

●平成24年度木曾広域連合一般会計補正予算(第3号)

796万9千円を追加し、総額29億1221万3千円となりました。主に事業量の変動に伴うものです。

●平成24年度木曾広域連合介護保険特別会計補正予算(第3号)

189万5千円を追加し、総額38億4170万5千円となりました。主に、介護認定システム改修に伴うものです。

●選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

選挙管理委員長長の退任に伴い、選挙管理委員に松川勝三氏(田立)が当選しました。

**松塩筑木曾  
老人福祉施設組合議会報告**

松塩筑木曾老人福祉施設組

合議会11月定例会が、11月9日に開催され、提出議案すべてが原案どおり可決・決定されました。主な内容についてお知らせします。

●監査委員の選任について

監査委員に上條光明氏(山形村)を選任しました。

●平成24年度松塩筑木曾老人福祉施設組合一般会計補正予算(第1号)

4500万円を追加し、総額46億2600万円となりました。

●平成23年度松塩筑木曾老人福祉施設組合一般会計歳入歳出決算が次のとおり認定されました。

区分	金額
歳入合計	4,573,192,424円
歳出合計	4,548,725,720円
繰り越すべき財源	0円
実質収支額	24,466,704円

**町政を問う**

**6人の議員が質問**



伊藤 伸三

**第9次総合計画について**

**質** 第9次総合計画案について、資料が各戸に配布され住民懇談会が開催された。懇談会で、冒頭に町長が挨拶された内容を文章にして資料に添付すべきでなかったか。あの膨大な資料に目を通して意見をと言われても、多くの方が戸惑ったと思う。今ここにその「挨拶の趣旨」を文章でいただいたが、「町の現状と南木曾町をどうするか」「町長の考えを町民は聞き取ったか」と思う。まず、住民の意見を出してくれという姿勢は逆だと思ふ。また、挨拶の中で「教育に力を入れていく」と述べているが、具体的

な構想はあるか。

**答** 文章にすることは大事だったと思います。教育については、構想ではなく、教育は南木曾町と社会の未来を造っていく投資として重要だということです。

**質** 総合計画案では、人口が10年後に3800人になると予測されるが、総合計画の実施で4200人を目指すとなっている。しかしこの計画を全面的に推進していくだけでよいのか疑問である。構想・計画いづれも必要ないとばかりだが、とりわけ「若者定住・子育て支援・自然エネルギー・観光振興・住民参加の町づくり」等については、抜本的な対策を立てるとい位置づけが必要だと思ふ。

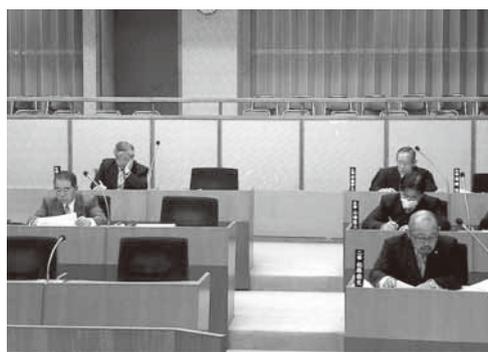
**答** いずれも重要であり、計画案に盛り込まれています。

**質**

住民懇談会でも「若者定住対策・子育て支援等力を入れて欲しい」と強調されている。また、美しい村連合を活かした地域づくりや自然エネルギー再生も町づくりの一つだ。重点課題について「計画案の前文や挨拶」で強調すべきだ。

町民参加の町という点で「お出かけ町長室(仮称)」を提起したい。各地域や各種団体と「町長がひざを付き合わせて懇談する場」が必要と思う。住民懇談会は当局の説明を聞き質問するという形であり、参加者も少ない。

**答** 貴重な意見として検討します。



**質** 計画案の防災対策の中に原発事故に対する対策がないが必要ではないか。

**答**

検討します。



山崎 隆二

国政的諸課題について

**質** 景気と雇用が国民の最大の関心事であるが、国債を増発しすぎると急激なインフレを引き起こす懸念がある一方で、地方にとつてはインフラ整備が望まれる。町のレベルでは何ができると考えるか。

**答**

都市から地方にインフラ整備が進展しないうちにデフレとなりました。今は国のデフレ対策に期待したい。

**質** TPP（環太平洋経済連携）についてどう思うか。米は現在高い関税で守

られているが、自動車等輸出産業は交渉参加により関税の撤廃と輸出の増加を求めている。農業分野では、交渉に参加する代わりに農業経営の集約化等に対抗するか、交渉には入らずに諸施策により日本の農業を守るかの選択と選ぶ。

**答**

むずかしい問題ですが、基本的にはTPP交渉参加には反対です。日本の国としての基本を保持することが大切だと思います。

**質**

教育分野については、学力向上が必要な一方でいじめ問題への対応も大切と思う。学校教育、家庭教育、社会教育の連携が大切と思うが、いじめの原因をどう捕らえているか。

**答**

いじめはどんな世界でもあり得ることで、根絶が必要です。相手を思いやる心が大切だと思います。いじめを隠さず公表し、全国的に取り組むべきだと思えますが、具体的な対策は教育のプロである教育委員会が検討し、町は予算措置を行うという考えです。

**質**

町の高齢化率は38%で、高齢化と少子化が進展し、町が20年後の日本の姿を先取りしている中で、どのような姿勢で福祉政策に取り組むか。

**答**

子どもが多ければ高齢化率は下がりますが、高齢の方々にも元気にやっていただきたいと思っています。

**質**

町に何か希望しても「お金が無い」と言われると聞いている。町民の士気を高めるためには福祉政策を含め、財政出動が必要と思うが。

**答**

福祉分野では介護予防に力を入れていきたいと思っています。

**質**

原発の有り方として、町長は代替エネルギーの利用が増進していくことを条件に、原発をゼロにするべきと考えているということでしょうか。

**答**

そのとおりですが、廃炉と燃料の処分が問題です。

**意見**

原発廃止という方向なら、町としては代替エネルギーを推進していく政策をとるべきである。木質バイオマスや風力発電は個人では取り組めないが、太陽光発電は家庭でも取り組めるので、設置に対して補助制度を創設することを求める。



早川 親利

日本で最も美しい村連合加盟について

**質**

南木曾町は平成20年に加盟しているが、加盟していることを知っている町民が少ないと思う。基本的なことから今後どのように活かしていくかを伺う。また、加盟するための条件は何か。

**答**

人口が概ね1万人以下であること、地域資源が①景観②自然環境③文化の内2つ以上あることです。また、①美しい景観に配慮

したまちづくりを行っている②住民による工夫した地域活動を行っている③地域特有の工芸品や生活様式を頑なに守っているの3つの活動が行われていることです。

**質**

何年ごとに更新されるのか。

**答**

5年ごとに再審査があります。来年再審査が行われます。

**質**

加盟したことをどのような方法で町民に周知したか。

**答**

広報なきそや全体区長会でお知らせしています。また、各イベントでもPRしています。

**質**

南木曾町が加盟していることをもつと内外にPRするためにも、中津川市や大桑村の境に看板等建てて周知することは出来ないか。

**答**

現在役場入口の国道沿いにロゴマークがありますが町村境に建てるよう検討します。

**質** 全国及び長野県内の加盟町村数は。

**答** 全国の加盟町村は49町村、県内は7町村です。木曽は、当町と木曽町です。

**質** 国道19号沿いのいすゞ自動車工場前の花壇は、今年1年手入れがされていない。こんな状態でも美しい村と言えるか。

**答** 花壇は以前、南木曾中学校で維持管理していましたが、生徒が少なくなってしまう等、管理が出来なくなりました。どこかにお願ひしなければと思っています。

**質** 現在、国道等でゴミ等を拾う事業を実施しているが、これもPRが足りないと思うが。

**答** のぼり旗等でPRしていますが、他の方法も検討します。

**質** 美しい村の加盟審査基準の中に、「美しい環境に配慮した町づくり」「住民による工夫した地域活動を行っている」とあるが、これ

を受けて山から搬出される間伐材を利用し、各区のゴミ設置場所に統一したゴミ箱を置くことは出来ないか。

**答** ゴミ置き場は、町内に450箇所程あります。すべて設置することは困難だと思いますが、研究してみたいと思います。

**意見** せっかく美しい村連合に加盟しているの  
で、間伐材を利用したり、花で美しい町にする等、町民一丸となって美しい町にしたい。もっと積極的にPRして欲しいと思う。



坂本 満

**水道施設の耐震化等について**

**質** 上下水道の老朽化の状況はどうなっているか。

**答** 5つの簡易水道では、一番古い北部簡易水道で34年が経過しています。水

道施設の耐用年数は、上水の配水施設で60年、配水管で40年です。下水道の集合処理施設は古いもので12年が経過しており、耐用年数は50年です。個別処理のものは古いもので22年経過。合併浄化槽の耐用年数は50年と言われています。

**質** 施設を更新していくに  
は長い時間と費用がかかるか。

**答** 更新計画をしつかりと立てる中で、地元の企業にも応援して頂ける事業として取り組んでいきたいです。

**保育園について**

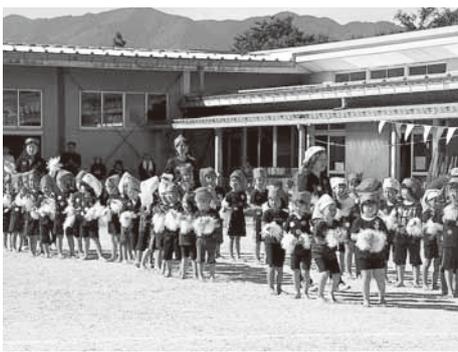
**質** 住民懇談会で保育園は  
当面3園とするという方針が示された。保育園の統廃合問題は無くなり、園舎の耐震構造の判定と並行して必要な園舎改築へと進展するという理解でよいか。

**答** 住民懇談会では、耐震の結果が出るまで当面3園を維持すると言うことを根本に話をしました。耐震診断を実施中で、耐震の結果が

出来次第、報告させて頂きます。

**質** 保護者の中でも、3園  
継続を知らない方がいる。町として、もっとはつきり知らせては。

**答** 「子どもがいなくなり、困ったという事態があれば、3園維持は難しいかもしれません。」という言い方をするので皆さん心配されていると思いますが、耐震の予備審査等でも、そんなにお金が掛から無い方向が出そうなのが掛りますので、それを見て改めて3月の定例会、その後、今後の改築計画を立てた中で、住民のみなさまに周知したいと思っています。



**質** 保育料のうち、20%補  
助している分については  
の来年度以降の見通しは。

**答** 国からの交付金事業としては今年度で打ち切りになります。25年度からは、期間を区切って町単費で実施していこうと考えています。

**学校給食費について**

**質** 昭和29年の「学校給食  
法並びに同法施行令等の  
施行について」という文部  
省の通知では、学校給食の経  
費の負担等について、「児童  
の給食費の一部を補助するよ  
うな場合を禁止する意図では  
ない」とある。保護者負担  
が原則ではない点を理解して、  
行政として応援して頂きたい。

**答** 保護者負担は食材の部  
分がほとんどです。町  
としては保護者負担を原則と  
して、今後の社会経済情勢、  
町の財政状況を見ながら検討  
していきたいと思っています。

国民健康保険について

**質** 保険税の最高限度額に相当する所得が、平成24年度では22年度より下がる。このため、課税が低所得側に振り分けられる結果になっているのでは。

**答** 負担限度額の改訂については、国民健康保険法などに準拠して条例改正をしてきています。国保運営協議会もありますので協議検討をしていきます。

**質** 子育て支援ということ、子どもがいる場合に無料化・減免できないか。

**答** 法的な問題もあります。子育て支援については、18歳まで乳幼児・児童福祉医療受給者対象を拡大して対応しています。



松原 崇文

蘇南高校について

**質** 総合計画でも示されていると思うが、地域高校としての蘇南高校の役割は、南木曾町にとって大変重要と考えるが町として現在応援していることはあるか。

**答** ①与川線、北部線、保神線等のスクールバスに蘇南高校生が乗車できます。②町内の小中高連携教育連絡会を立ち上げています。③広報なきその紙面で蘇南高校の情報を町民に知らせています。④蘇南高校の行事の企画に参画しています。⑤全体区長会で、蘇南高校の校長先生から話す機会を設けています。⑤近隣町村の町長・教育長による蘇南高校を育む会を設置しています。⑥町の教員住宅を利用する蘇南高校の先生方には、家賃の減免措置をしています。等が現在支援を行っています。

いる状況です。

**質** これからできそうなことは何か。

**答** ①地域全体で、蘇南高校を大切にしたい。②今以上に町民に情報を発信していきたい。③蘇南高校の授業が、もつと特色のあるものになるように学校と相談して県に働きかけたい。④小中の児童生徒に、蘇南高校がもつと身近になるための交流をしていきたい。⑤同窓会等、関係団体にも支援のための提言を行っていききたい。等です。

**意見** 小中の児童・生徒が、蘇南高校と交流するのは大変よいことだと思う。学校間で連携をとりながら継続させて欲しい。

総合型スポーツクラブについて

**質** 現在の進捗状況は。

**答** 2月の立ち上げを考えて、設立準備委員会を設置して会議を8回行ってき

ました。

アシスタントマネージャーを正副各1名採用して、講習会に参加させています。

**質** 多くの町民がスポーツに親しめ、大変よいシステムだと思うが、スポーツだけでなく勉強の時間も必要だと思う。夜遅くまでの練習、テスト前の処置、休日の大会の日程、休日練習の量や時間による月曜日の授業への影響等、学校と調整しながら運営できないのか。

**答** 教育委員会でも話は聞きますので、今回の設立にあたり、学校とは話し合いを持っています。また、保護者との話し合いを予定しています。よりよい方向になるよう努力していきます。

身体障がい者福祉協会について



矢澤 和重

**質** 現在活動中の会員も高齢化し、新たに会員を増やしたいが、個人情報保護のため新しく手帳をもらった方がわからず勧誘することができない。手帳を持っている方に確認し名簿を作成できないか。

**答** 会員名簿作成につきましては、個人情報は、個人情報保護法や町の情報公開条例により個人情報取り扱いは、制限があり難しいためご理解をお願いいたします。

なお、協会で勧誘チラシ等を作成いただければ、窓口において該当者にお渡しすることは可能です。

**質** 協会でチラシを作成し、窓口で新たに手帳を交付した方、相談に見えた方へ渡して貰えるということよ

いか。

**答** よいです。あくまで該  
当者の方が、ご自分の  
意志に基づき連絡をするとい  
うこととなります。

**質** 身体障がい者福祉協会  
の活動へ補助金を増や  
せないか。

**答** 23年度は13万円支出し  
ています。会計報告に  
よりますと会計規模は約23万  
円です。補助率が6割近い補  
助です。町の福祉活動支援事  
業補助金交付要項に基づき支  
出していますのでご理解をお  
願いします。

**意見** 現在、南木曾町の身体  
障がい者270人の  
内、60歳から75歳以上の方は  
235人で、高齢者が多く年  
金以外の収入のない方がほと  
んどである。活動費は、主に  
町と協会からの補助金でまか  
なっているが、個人負担が少  
しでも減るとよい。今後より  
一層、身体障がい者の支援  
と理解を要望する。

# 補正予算審議(抜粋)

**Q** 早川議員

南木曾駅の暖房費の予算が  
計上されているが、いつから  
暖房が入るか。

**A** 産業観光課長

JR東海では、今まで無人  
駅に暖房を入れたことがない  
ため、慎重に対応したいとの  
事です。JR東海と協議し、  
入れてもらうよう努力しま  
す。

**Q** 早川議員

12月2日に南木曾町で開催  
された「木曾川三川がつな  
ぐ山とまちインターネット  
フォーラム」に中京方面から  
170人程の参加者があり、  
妻籠宿や南木曾ぐるくろを見学  
し意見交換会等行われたよう  
だが、関係団体や議会等にも  
参加要請がなかった。また、  
地元の住民も知らなかったよ  
うだが。

**A** 産業観光課長

事前に区長配布で周知しま

した。町民一般参加は、1名  
でした。再度広報無線等で周  
知すればと思いましたが。

**Q** 伊藤議員

今年も福祉灯油を出しても  
らいたい。

**A** 町長

検討します。

**Q** 坂本議員

EV充電器設置のとりやめ  
の理由は。

**A** 産業観光課長

EV車の普及が進展してい  
ないこと、充電口の装置が多  
種に対応しにくいからです。

**Q** 坂本議員

小水力発電の可能性は。

**A** 建設環境課長

25年度以降調査します。

**Q** 勝野議員

博物館の入館者数と経営状

況は。経営改善策はあるか。

**A** 教育長

今年度(4月から10月まで)  
の入館者数は、昨年度に比べ  
11%減となっています。

経営面からすると良くあり  
ませんが、町民に文化や歴史  
等を知ってもらう施設でもあ  
ります。近隣市町村に比べ妻  
籠宿への来訪者の1割が入館  
しているのは健闘しているほ  
うだと思っています。

**A** 住民課長

研究させてもらいます。

**Q** 勝野議員

高齢者、年少障がい者への  
インフルエンザ補助(1人  
1200円)を増額できない  
か。

**A** 住民課長

研究させてもらいます。

しかし、今後も経営が改善  
されるよう努力していきま  
す。

6646万3千円を追加  
34億4351万8千円に

一般会計補正予算  
総額

●会計別補正予算

(単位：千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計(第5号)	66,463	3,443,518
国民健康保険特別会計(第3号)	588	517,673
簡易水道事業特別会計(第3号)	△ 500	194,254
妻籠宿有料駐車場特別会計(第2号)	7,654	51,206
下水道事業特別会計(第2号)	△ 200	64,462
農業集落排水事業特別会計(第2号)	歳出予算款・項間の組み替え	
浄化槽市町村整備推進事業特別会計(第2号)	△ 31,669	92,561
後期高齢者医療特別会計(第2号)	△ 714	73,270

●一般会計補正の主なもの

(単位：千円)

事 業 名	金 額
施設開所準備等特別対策事業	10,800
子育て家庭優待パスポート事業	93
子育て支援金積立金	40,000
有害鳥獣駆除事業	2,785
除雪対策事業	15,000

**Q** 山崎議員

浄化槽の予算3000万円減額となっているが三留野地区の水洗化率の向上対策はどうなっているか。

**A** 建設環境課長

推進委員会を設置し検討中です。

**意見** 山崎議員

川の流域単位での小規模浄化施設の設置を検討してはどうか。

**意見** 早川議員

上下水道修繕積立基金の設立を検討してはどうか。

**Q** 伊藤議員

有害鳥獣駆除の状況は。

**A** 産業観光課長

昨年度と比べ、イノシシ100頭↓155頭、クマ0頭↓11頭、サル22頭↓77頭と増えています。猟友会の努力に感謝しています。

# 全員協議会審議(抜粋)

## 第9次総合計画

### について

**勝野春喜議員**

有林を活かした今後の町づくりを研究しなくてはならない。

住民懇談会等の意見を反映した審議会に取りまとめ中の計画案について、各議員から質問、意見が出されました。この計画案は1月の審議会主催の住民懇談会を経て、3月議会で最終審議されます。

**伊藤伸三議員**

- 住民懇談会で出された主要な意見を開示されたい。
- 高齢者福祉の充実として、高齢者の足の確保が切実な要望になっているが、記載がない。福祉や新交通システムの観点から記載すべきだ。
- 国有林についての現状と課題の表現がわかりにくい。町の面積の64%を占める国

すれば循環型経済になり、資源も循環するとの考えもある。

**山崎隆二議員**

- 総合計画が総花的になるのは当然で、行政の役割でもある。数値目標の設定は大事故だが、根拠が不明確な部分がある。火災や事故件数等は数値よりも努力事項とすべきである。
- 遊休農地解消面積で、5年前は500m<sup>2</sup>解消、現在は1000m<sup>2</sup>を解消、5年後に1600m<sup>2</sup>を解消とあるが、宅地造成等は対策に入らないか。
- 町長が「原発は減らすべき」という方向なら、自然エネルギーについては、太陽光発電の設置補助等を含め、「調査研究」に留まらず「推進」等積極表現にすべきだ。
- 町の公債費(借金)を減らす数値目標は、5年前96億、現在74億、5年後55億で、将来目標は過去5年間の実績からすれば横ばいだ。借金を減らす目標は財政の観点から分かるが、総合計画で人口減少を食い止めよう、定住化も図ろうと計画

**早川親利議員**

するならば、もう少し積極財政に転換していく数値目標にしたかどうか。総合計画は町の基本だから、借金の返済目標を高く設定してしまつと、それに拘束された財政計画になることを懸念する。

- 自助・共助・公助を基本とするというのだが、計画中に「交流推進、定住化対策」があり、地元の若者やIターン者の意見を聞く場等、住民参加の町づくりも計画に反映するべきだ。
- 林業振興で、「作業道等を作り、木質バイオマス発電所に不要材の資材を提供するよう進める」とある。国有林には林道があり搬出機能もあるが、民間の里山は荒れており作業道の開設が大切である。今後の林業振興として、町の90%を占める山の木材資源を活用し、木質バイオマス発電に使う良い機会である。また、作業道には町の補助金制度がないが、バイオマス発電施設の固定資産税を山に活用
- 人口目標で、年少人口420人は良いが、生産人口2100人はどう努力するのか。65歳以上の推計値は1554人になっているが、1680人にするにはどうするか。0から14歳の年少人口の目標は、推計値より0.3%しか増えないが、この目標は増やせないか。
- 住民懇談会で町長は「基本理念を定める際に子どもへの教育に重点を置く」と発言している。重点課題では「若者の定住化」を掲げているが、「教育に重点」がない。
- 「国内・国際交流活動の推進」の中で、長久手市との交流が書いてあるが、国際交流もどこかの国と交流するのか。文章を検討されたい。
- 天白公園、河川公園以外の

各地域にある公園についても記載すべきでないか。

**坂本満議員**

●人口目標ではどの階層の人口が増えるようにしたいのか。総合計画で何処を重点にするかは、人口構成をどう考えるかで変わってくる。若い人も中高年の人も、みな町に暮らしてもらいたいということでは理解している。

●「協働」という言葉の意味は。阪神大震災以降「自助・共助・公助」と一対で使われているようだが、「協同」や「共同」もあり、言葉はある程度限定して使う方がいいのではないか。

●「公園、広場の整備」で、駅前広場の活性化について、駅の無人化対策も含め、できそうなことを計画に含めないのか。

●観光と景観の美しい村について、施策間で連携し合っただけで形が出来上がっていくイメージがない。景観対策では「美しい村」とあるが、観光対策では出てこない。自分の町を「美しい村」と誇れる住民意識や、景観だ

けでなく人との交流等も含めた「美しい村連合」としての南木曾町を目指せないか。

**松原崇文議員**

●「学校教育の現状と課題」の中で、コミュニティスクールについてはどうか。大がかりなので町に合わないかも知れないが、もう少し地域の方々と教育をやっていくために、町独自で「地域支援本部」を作り、学校を借りて放課後の小中学生の学習をみる。また、公民館の生涯学習と連携しながら、マレットゴルフにクラブ活動で参加する等の検討もされたい。

**矢澤和重議員**

●防災対策で、土砂災害や急傾斜地の危険地区は書いてあるが、古い半鐘塔等に触れてない。大震災時に倒れて、家や住宅等に害を及ぼす可能性があるのか、その対策も検討すべきだ。

実施計画について

3年ごとに策定される町の実施計画について質問、意見が出されました。

**Q 山崎議員**

財政状況は右下がりだが、主要5事業を実施する財源はどうなるか。総合計画と実施計画とは財政面で整合するか。

**A**

町税も交付税も減少見通しで計画しました。今後は財政調整基金の取り崩しもあり得ると考えますが、1年ごとに見直していきます。

**Q 伊藤議員**

旧妻籠小学校の解体事業が26年度に送られている理由は何か。

**A**

町並み交流センターの建設の絡みもあり送りました。

**Q 早川議員**

実施計画は、第9次総合計

画に連動して作成されたと考えてよいか。

**A**

総合計画を基に5年間の長期計画、さらに3年間の実施計画を作成しています。

**Q 早川議員**

総合計画で若者定住化を重点項目に掲げているが、実施計画ではどう反映されるか。

**A**

移住・定住対策事業、美しい村連合交流事業を新たに計画し、住宅リフォーム補助金、保育料の20%補助は継続事業とします。

**Q 早川議員**

改修事業に2億円余をかけるということは3園体制で維持するのかが。

**A**

当面、3園を維持します。

**Q 北原議員**

蘭地区の町営住宅は全戸入居し、足りないくらいだ。今の若者は一戸建ての空き家には入りたがらない。蘭地区に町営住宅を建てる計画を今後

お願いしたい。

**A**

新築は土地の選定も行いながら計画したいと思います。

**Q 高橋議員**

読書保育園の改修工事に伴い、狭い駐車場の整備や国道から入る安全対策はどのようになっているか。

**A**

駐車場は小学校を利用して欲しい。国道からの安全対策は、国道・J.R.と協議を進めているところです。

**Q 高橋議員**

通常の送迎には、今の駐車場では狭すぎる。職員駐車場を別に確保するなどの対策はないか。

**A**

検討します。

## 南木曾バイオマス 発電事業計画の 概要について

業者（新エネルギー開発（株））から概要説明があり、各議員との質疑応答がされました。

### 概要

**設立会社の仮称**：「南木曾町バイオマス発電株式会社」

**事業地**：国道19号南木曾大橋の南付近の山側

**事業内容**：バイオマス発電施設運営

**発電規模**：11500KW/h

**使用燃料**：森林資源、剪定枝、木材加工場廃材、PK  
S（輸入ヤシ殻）

**使用量**：年間10～12万t

**運転開始**：平成27年7月予定

### 質疑応答

**Q 坂本議員**

発電規模は採算ベースではなく、地元で安定的に燃料調達出来る規模にすべきでは。

**A**

燃料調達には岐阜・長野県と一部山梨県を見込み、輸入ヤシ殻も補填的に使います。

**Q 坂本議員**

燃料調達の競合や、行き過ぎた伐採の心配がある。

**A**

森林整備に伴う木材を燃料に使います。林業者が赤字を出してまで燃料のために材を出すのは継続性の無いことで、林業事業者と発電事業者双方努力して、先を見て進んでいきます。

**Q 伊藤議員**

南木曾町を選定した理由と選定条件は。

**A**

南木曾木材協同組合の熱意で、中小企業庁から指名を受け検討してきました。電力固

定価格買取制度（FIT）の施行もあり計画しました。

場所の条件は、電力系統が近い、水が確保できる、しっかりとした地盤、燃料搬入トラックが通れる、周辺に住宅が無い等です。

**Q 伊藤議員**

環境アセスメントについて一番大変な問題は。

**A**

大気汚染防止法や県条例より10%厳しい条件で設計します。水質では、タービン水の酸性度が上がるので、腐食防止剤も含め調整して放流します。煙は夏場はほとんど見えず、冬場は蒸気のように見えますがすぐ消えます。

騒音、振動の規制は24時間発電のため、土地が広くないとクリア出来ません。トラックは、月曜日から土曜日の朝6時ぐらいから夕方5時ぐらいまでで、1日40～50台で運搬します。

**Q 伊藤議員**

南木曾町へ予算を伴うような要望はあるのか。

**A**

町経由で県に林野庁から配布された交付金があり、連携して補助金申請の関連の相談への協力が必要です。

**Q 山崎議員**

施設の造成はどのようにするのか。

**A**

山を切って発電所を設けます。2段、3段の階段状に造成する計画です。出入口は国道に沿って2箇所、施設は200m程度の直線距離になります。

**Q 早川議員**

敷地面積はどのくらいか。

**A**

発電所と付帯施設で、道路を除いて1万5千m程必要と思われれます。

**Q 早川議員**

急峻な場所での防災設備が必要だが。

**A**

防災対策を計画しています。

**Q 早川議員**

JRのトンネルが通っているが、協議はどうか。

**A**

これから協議に入りますが、施設からは距離があり問題無いと思われれます。

**Q 早川議員**

高圧送電線は、相当修理しないと使えないのでは。

**A**

事前協議制度があり、問題は無いとのことですが。

**意見 山崎議員**

現在稼働している施設の管理状態を現地見学したい。

補正予算審議での  
町との質疑応答

(バイオマス関連)

Q 坂本議員

9月議会の資料と、12月議会での説明とでは、発電規模が5800kw/hから11500kw/hに倍加し、使用燃料が年間8万トンから10万トンになった。発電量が増えた割に燃料が増えていないのは、PKSというヤシ殻にかなり頼るためと思う。発電量の倍加で地域の木材調達に影響が出ないか。

A

9月は構想段階で確定していなかったと思われませんが、発電規模の増加については企業から聞いていませんでした。地元の燃料調達については心配しています。現在、バイオマス燃料の可能量調査をおこなっており、結果を見て企業と打合わせていきます。

Q 坂本議員

再生可能エネルギーへの取り組みは前向きで良いが、懸念は確認していきたい。

燃料のPKSはマレーシア

で生産し、ヤシ殻そのものは燻蒸して消毒してあるようだが、昆虫や植物などの生物が入ってくる懸念がある。

A

ヤシ殻の輸入をどのようにしているかわかりません。防疫体制がどうなっているか企業に聞いて報告します。

町営妻籠宿  
第3駐車場運営の  
見直しについて

第3駐車場の部分廃止について協議がありました。

観光客の減少に伴い、利用料が減少し、駐車場経営が厳しくなったことから、約3割を原状復帰して返還するという内容です。これに伴い借地料も軽減される見込みです。

議会の動き

(10月・11月・12月)

10月の行事

- 1～2日 木曽広域連合議会福祉環境常任委員会視察
- 3～4日 町村監査委員全国研修会
- 3～5日 美しい村連合フェスティバル in たかはる
- 7日 花馬祭大祭、阿智村議会との交流会
- 14日 長久手市議会との交流会、議会運営委員会
- 17日 木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会
- 18日 木曽広域連合議会経済観光常任委員会視察
- 19日 南木曽小学校音楽会
- 20日 大平峠県民の森紅葉まつり
- 22日 県境近隣市町村議会議長会
- 23日 例月出納検査、わらび沢大橋通行安全祈願祭、中津川南木曽県際道路改修協議会総会
- 24日 長野県町村議会議長会定期総会
- 27日 南木曽町美術・工芸展開会式
- 28日 ふるさと馬籠ごへー祭り
- 30日 木曽郡議会議長会要望活動

11月の行事

- 1日 妻籠宿保存地区保存審議会
- 3日 南木曽町表彰式、熊野神社例大祭
- 4日 南木曽町社会福祉大会・ふれあい福祉まつり
- 5日 南木曽町社会人野球連盟並びにソフトボール連盟合同閉幕式
- 6日 愛知中部水道事業団との交流会
- 7日 木曽川右岸道路、国道256号、主要地方道中津川田立線要望活動
- 8日 長久手市との災害応援協定調印式
- 9日 松塩筑木曾老人福祉組合議会議長会定例会
- 12日 国保運営協議会委員等研修会
- 14日 町村議会議長全国大会、郡議会議長会要望活動
- 15日 南部直轄要望活動
- 17日 議会主催住民懇談会
- 18日 南木曽商工会永年勤続優良従業員表彰式
- 19日 全国治水砂防協会賛助会員情報連絡会議

- 20日 長野県治水砂防協会土砂災害から人命と地域を守る砂防会議・要望活動長野県治水砂防協会・要望活動
- 22日 国道256号改良促進期成同盟会要望活動、例月出納検査
- 23日 妻籠宿風俗絵巻の行列
- 26日 議会議員と商工会との懇談会
- 27日 木曽広域連合議会定例会
- 28～29日 木曽南部直轄砂防推進協議会要望活動
- 30日 議会運営委員会

12月の行事

- 3日 町議会総務文教常任委員、教育委員、校長・教頭合同会議
- 4日 財政援助団体監査
- 5日 財政援助団体監査
- 6日 木曽南部土砂防災ネットワーク・直轄砂防推進協議会勉強会
- 7日 財政援助団体監査、県境近隣市町村議会議長会要望活動
- 12日 定例議会
- 14日 南木曽町社会福祉協議会評議員会
- 18日 定例議会、国道256号改良促進特別委員会
- 21日 例月出納検査

議会の傍聴に  
お越しく下さい

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。

※12月の議会は、2日間で8人の傍聴がありました。

## 議会主催 住民懇談会開催

議会の初めての試みとして住民懇談会が、11月17日(土)に南木曾会館で開催されました。これは、3月に制定された議会基本条例に基づき、住民の意見を多く聞き議会運営に反映させることを目的として開催されました。当日は懇談会に先立ち、長野県環境部温暖化対策課の中島課長による「南木曾町における自然エネルギーの可能性について」と題した講演会が開かれました。住民懇談会は24人の住民の方に参加いただき、色々な意見をお聞きすることができました。



**住民** 議員が定数より1人減となつているがこのままで行くのか。

**議会** 町では議員定数を10人と規定しており、現在は9人で1人欠員の状態です。欠員が2人以上になると補欠選挙になります。

**住民** 住民懇談会は町と同じ日に行ってもらいたい。

**住民** 住民懇談会は議会独自で行うべきだ。もっと地域へ出て懇談会を開催してほしい。

**議会** 今後は住民の意見を尊重し進めていきます。

**住民** 9月のテレビ番組で南木曾町議会が取り上げ

ば住民は町政に関心が高まるのではないかと。議員の活動を住民に発信してほしい。

られていた。活動日数が少ないこと等が流されていて、他にも議会活動が勘違いされる恐れがある内容だった。間違いであれば修正をすべきでないか。

**議会** 番組は、全国的に無投票の市町村議会議員の選挙が増えてきたことをテーマに取り上げたものです。その原因を探る中で、議員の魅力と若い人の政治への関心を高める目的での取材でした。番組の都合で放送時間が大幅に短縮になり、当初の趣旨が反映されていなかったと思われま

**住民** 町の職員で町外に住んでいる人がいる。町内に住むよう働きかけるべき。

**議会** 機会を見て働きかけています。

**住民** 議員年金はどうなっているか。

**議会** 昨年廃止されています。

**住民** 議会をテレビ放送してほしい。様子が分かれる

ば住民は町政に関心が高まるのではないかと。議員の活動を住民に発信してほしい。

**住民** 若い人たちに南木曾町に住んでもらえるよう、前向きな行政を行って欲しい。

**住民** 町の森林を利用し、木で生活できるように研究してほしい。

**住民** 請願・陳情の内容をもっと詳しく議会だよりに掲載してほしい。

**住民** 地域振興協議会から出た要望を議員も共有し

て欲しい。

**住民** ハザードマップの見直しをして、住民の安全を確保してほしい。

**住民** リニア新幹線に関して、南木曾町で説明会を開催するよう働きかけてほしい。

**住民** 蘇南高校のサポートをしてほしい。

### 「南木曾町における自然エネルギーの可能性について」

県内で取り組まれている自然エネルギーは、「太陽光」「水力」「バイオマス」が主なものである。全量固定価格買い取り制度により、安定した収入が見込めることから最近では普及が拍車がかかっている。

買い取り価格と調達期間 (主なもの)

	調達価格	調達期間
太陽光 (10 KW未満)	42.0 円	10 年
水力 (200 KW未満)	35.7 円	20 年
バイオマス (間伐材等利用)	33.6 円	20 年



中島 恵理 課長